不動心
令和７年３月
第　７８　号
発行　普照院

一生を終えてのちに残るのは

会社員　野[redacted]（[redacted]50）

20歳のころ、三浦綾子さんの小説を夢中で読みました。「続氷点」に「一生を終えてのちに残るのは、われわれが集めたものではなくて、われわれが与えたものである」という言葉が出てきます。

当時はよく理解していませんでした。お金がたまれば車を買い、家を買い、果てしないコレクション魂が人間の悲しい性（さが）ではないかと。

20代後半で父が、数年後に母が他界しました。苦労を重ねた両親の人生は何だったのか。かわいそうに思えてきました。いずれ身内や友人もこの世から消え、両親が人々の記憶からも消えていくことが。

30代後半になり、あの言葉を思い出しました。手元に「集めた」ものは、自らの死とともに消えてなくなるでしょう。でも、「与えた」ものはそうではないと考えるようになりました。両親から受け取った有形無形の施しを、自らの肥やしにするだけでなく、たすきリレーのように次の世代に伝えていく。これこそ、自分が生を受けた意味なのかもしれない。

自分のしがない人生は、何百万年と続く人類の営みのほんの一瞬です。残したいものは何なのか。考えながら子どもと接する日々です。

新聞の記事です。これを読んでいて、ある方（女性）が話していたことを思い出しました。

彼女が、夫の母親の３回忌の準備をしている最中に、ふと思ったのだそうです。

「自分の母親の命日は、いつだったっけ？」

このように実の母親に関することですらも、忘れてしまうものなのです。しかし親から学んだことは、忘れていないことがたくさんあると思います。と言うよりも、私たちの行動は実体験だけでなく、誰かに教わったり、模範とした事の集大成です。そう思うと、自分が善いと思っている行いだけでなく、悪い行いも、特に自分の身近な人に多大な影響を及ぼしているのかもしれません。私も、そういうことを意識して生活したいと思いました。

【令和７年のお寺行事（予定)】

月	日	行事	内容
3 月	20 日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	23 日	春彼岸塔婆供養会	午後 2 時より、本堂にて。
4 月	8 日	釈迦生誕祭(花祭り)	花見堂を設置しております。随時お参り下さい。
5 月	18 日	合同動物供養会	午前 11 時より、本堂にて。
8 月	7 日	盆墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	16 日	盆施餓鬼 ・初盆精霊供養法要	午後 2 時より、本堂にて。 併せて本年の初盆精霊をお供養します。
9 月	23 日	秋彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	26 日	秋彼岸塔婆供養会	午後 2 時より、本堂にて。
12 月	8 日	成道会・永代塔納骨供養	舞子墓園 当寺院永代供養塔前にて。
	27 日	歳末墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。

*変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

本堂定期補修ご寄付の経過報告

【一旦、締め切らせていただきます。】

寄付総額 3,820,000 円（令和元年より）

浄財喜捨にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本堂建物壁面補修工事は、来年に施工予定です。

詳細は、今回のお手紙（別紙）をご参照下さい。

何卒宜しくお願い申し上げます。

九拝合掌

〔編集後記〕　いよいよこの３月で、最後の子供が義務教育課程を修了となります。まあ実際のところは、現代の子供達のほとんどが高校へ進学しますので、まだまだ子育て修了とはなりませんが、一つの区切りの春となります。こうやって一つ一つ、人生の行事が終わっていくのだと思うと、55 才となる今年からは自分の時間を有意義に使うために、何か新しい目標を持ちたいなあ、と最近よく思います。ちなみに上の僧侶の画像、AI で作成しました。これ、面白いかもしれません。合掌

発行；[時宗　慈光山　普照院]　　　責任者　小田義宗

〒652-0853　神戸市兵庫区今出在家町４－１－29

電話　078－671－1787　　ﾌｧｯｸｽ　078－330－1187

ホームページ　http://fusyoin.com/

普照院　検索

これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげて下さい。